



制定日 2003/03/15

改定日 2023/04/25

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製品名 : スーパーリンスタンパー
 製品の種類 : オフセット印刷湿し水添加剤
 会社名 : テクノロール株式会社
 所在地 : 〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ3-4-5
 担当部門 : ケミカル技術部
 電話番号 : 0725(53)3933
 FAX 番号 : 0725(53)3922
 E-Mail : info@technoroll.co.jp
 管理番号 : No. MD- SR10

2. 危険有害性の要約

<GHS分類>

| | | |
|-----------|------------------|---------------------|
| 健康に対する有害性 | 急性毒性 (吸入 : 蒸気) | 区分5 |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | 区分3 |
| | 生殖毒性 | 区分2 |
| | 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | 区分2 (血液系、呼吸器、肝臓、腎臓) |
| | 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | 区分2 (血液系) |

*記載のないものは「区分に該当しない」、又は「分類できない」

<国/地域情報>

なし

<GHSラベル要素>

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
 吸入すると有害のおそれ (H333)
 軽度の皮膚刺激 (H316)
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い (H361)
 血液系、呼吸器、肝臓、腎臓の障害のおそれ (H371)
 長期にわたる又は反復ばく露による血液系の障害のおそれ (H373)

<注意書き>

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
 取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置

吸入した場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P304+P312)
 ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。(P308+P311)
 ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当を受けること。(P308+P313)
 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。(P314)
 皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断/手当を受けること。(P332+P313)

保管

施錠して保管すること。(P405)

廃棄

内容物/容器を国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

| 化学名/成分 | 化学式 | CAS No. | 官報公示整理番号 | 含有率(wt%) |
|----------|------------------|-----------|----------|----------|
| グリコール系溶剤 | - | - | - | 5-10 |
| アルコール類 | - | - | - | 5-10 |
| 界面活性剤 | - | - | - | 1-5 |
| 硝酸塩 | - | - | - | < 1 |
| リン酸塩 | - | - | - | < 0.1 |
| 安定剤、染料 | - | - | - | < 0.1 |
| 水 | H ₂ O | 7732-18-5 | - | 残量 |

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に被災者を移して、保温し安静にする。
呼吸が止まっている場合、及び呼吸が弱い場合は衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行い、直ちに医療処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに取り替え、触れた部分を大量の水及び石鹼で洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが取れない時は医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄水で15分以上洗眼(瞼の裏までよく洗う)した後、速やかに眼科医の治療を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、無理に吐かせないで医師の手当を受ける。
嘔吐する場合、頭部を横に向ける。
意識喪失の危険がある場合、待機や運搬は安全な側臥位で行う。
- 応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、泡、大量の水、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 火災時の特有危険有害性 : 消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
関係者以外は安全な場所に退去させる。
周辺火災時、容器に水を噴霧して冷却する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 特別個人用保護具(自給式呼吸器)を着用する。
漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。
十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 製品が排水路に排出されないよう注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させて密閉できる容器に回収する。
大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。
着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱および保管上の注意

- 取扱方法
- 技術的対策 : 取扱いは換気のよい場所で行う。
適切な保護具を着用する。
漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。
取扱い後は手や顔などをよく洗う。
- 安全取扱注意事項 : できれば、密閉系で取扱う。
蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

- 保管方法
- 安全な保管条件 : 容器を密栓して換気の良い冷暗所に保管する。
施錠して保管する。
酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。
 - 安全な容器包装材料 : 法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 25ppm (エチレングリコールモノブチルエーテル)
- 許容濃度 : 未設定
- 設備対策 : 蒸気の発散源を密閉する設備、局所排気装置またはプッシュプル型換気装置を設ける。
(有機溶剤中毒予防規則)
取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

保護具

- 呼吸用保護具 : 防毒マスク (有機ガス用)、送気マスク等。
- 手の保護具 : 不浸透性の手袋。
- 眼の保護具 : 保護眼鏡 (ゴーグル型)。状況に応じ保護面。
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 青色透明
- 臭い : 芳香臭
- 沸点 (初留点) : 101°C
- 蒸気圧 : データなし
- 比重 : 1.01(25°C)
- 溶解度 (水) : 水に任意に溶解(無限大)
- 引火点 : なし
- 発火点 : データなし
- 爆発限界 : データなし
- 可燃性 : なし
- 発火性 : なし(自然発火性、水との反応性)
- 酸化性 : なし
- 自己反応性 : なし
- 爆発性 : 蒸気は空気より重く、低所に停滞し易い。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 適切な条件下においては安定。
- 危険有害反応可能性 : 特別な反応性は報告されていない。
- 反応性 : 特記すべき反応性はなし。
- 避けるべき条件 : 火花、裸火、静電放電
- 混触危険物質 : 酸化剤、酸、ハロゲン類、アルミニウム
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

- 急性毒性 (吸入: 蒸気) : 含有成分合計が $20 < ATE \leq 50$ のため、区分5に該当。
- 皮膚腐食性/刺激性 : 含有成分合計が濃度限界 (1%) 以上のため、区分3に該当。
- 生殖毒性 : 生殖毒性区分2の成分合計が $\geq 3\%$ のため、区分2に該当。
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分1の成分が $\geq 1\%$ のため、区分2 (血液系、呼吸器、肝臓、腎臓) に該当。
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分1 (血液系)の成分合計が $\geq 1\%$ のため、区分2 (血液系) に該当。

12. 環境影響情報

製品としての有害性情報なし

1.3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 適切な保護具を着用する。
地方条例や国内規制に従う。
焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。
引火性が高いため十分注意する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

1.4. 輸送上の注意

- 国際規制
 - 海上輸送 : IMOの規定に従う。
 - 航空輸送 : ICAO/IATAの規定に従う。
 - 国連番号 : 2810
 - 品名 : その他の毒物(有機物)(液体)(他の危険性を有しないもの)
TOXIC LIQUID, ORGANIC, N.O.S.
 - 等級 : クラス9
 - 容器等級 : III
- 国内規制
 - 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に定められている運送方法に従う。
 - 海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。
 - 航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。
- 注意事項 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

1.5. 適用法令

- 労働安全衛生法
 - 表示対象物質 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) エチレングリコールモノブチルエーテル
 - 通知対象物質 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) エチレングリコールモノブチルエーテル
 - 有機則 : 第2種有機溶剤等 エチレングリコールモノブチルエーテル
- 消防法 : 非危険物
- 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 制度) : 該当 第一種指定化学物質: エチレングリコールモノブチルエーテル
(2023年4月1日より有効)
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 大気汚染防止法 : 該当 エチレングリコールモノブチルエーテル
- 海洋汚染防止法 : 該当 有害液体物質 Y 類: エチレングリコールモノブチルエーテル
- 船舶安全法 : 毒物類・毒物: エチレングリコールモノブチルエーテル
- 航空法 : 毒物類・毒物: エチレングリコールモノブチルエーテル

1.6. その他の情報

- 荷姿 : 500 ml ポリ容器
- 注釈 : この製品データは一般的な情報および経験に基づき得られたものですが、本製品のもつ特性に関する品質保証を意味するものではありません。危険、有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。また、記載事項は当製品についての通常取扱いを対象としたものであり、それ以外についてはご使用者の責任において安全対策を実施の上、お取り扱い願います。
本 SDS は JIS Z7252/7253:2019 に準拠して作成しています。